

河辺地域生活支援 コーディネーター通信

第10号

2019年12月発行



現在、河辺地域では27か所の町内でサロンが開催されていますが、サロン間の交流の場として、去る11月14日に河辺総合福祉交流センターで、サロン情報交換会を開催しました。当日19町内から43人の方が参加され賑やかに交流しました。

受付



開会直前

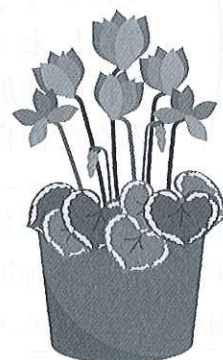


ささえ愛せせらぎ協議会会長挨拶



参加された町内名

砂子淵、上三内、萱森、柳町、台、赤平、高岡、奥出、式田、役場前、黒沼、下和田、山根、新栄町、三町内会、戸島、八慶、留見瀬、榊表



今回は、介護体験発表、河辺地区の現状報告、グループ毎の情報交換を行いました。

介護体験発表

認知症の母親を数年間介護したお嫁さんから体験談をうかがいました。体は元気なお母さん、早朝からあちこちに出て行ってしまい、ご家族が探し回る日々でした。そこで、ご近所や知人、よく立ち寄る先などに本人の状況を話し、対応をお願いするなど周囲の協力をいただき、在宅での生活を続けることができました。認知症とわかったら、周囲に知ってもらい、協力を得ることが大切というお話でした。

河辺地域包括支援センターから

- ・総合相談件数、内訳 ・2040年河辺の将来推計
- ・認知症サポーター養成講座について 認知症サポーター744人
- ・認知症カフェ「あんでけれえかわべ」
- ・認知症予防「アタマとカラダの健康教室」(コグニサイズ)

グループ情報交換会

6班に分かれて、自己紹介後、「ちょっとした物忘れ、サロンの日にちを忘れる人がいたら皆さんはどう支えますか」に沿った話し合いを行い、次のような意見がありました。

- ・家族で抱え込まず、周囲の助けを貰っては。
- ・認知症の方にも役割を持って貰う。
- ・サロンのお知らせを開催の都度行ったり、当日迎えに行ったりしている。
- ・サロンで楽しく過ごして帰ると、帰ってからも明るい表情なので、家族も参加させたいと言ってくれる。
- ・認知症の方に対して、ごく普通に接する。
- ・楽しくなければ継続参加につながらない。
- ・ゲームを毎回取り入れ、選手権を実施している。闘争心を刺激するのも予防になるのでは。



終了後のアンケートから

- ・サロンが立ち上がり、集まる楽しみがあって有難い。
- ・サロン今年から始めました、毎回同じ人ですが誘いあって参加しています。今迄に来てない人も参加してくれればと思います。
- ・男性の参加が少ない。
- ・みんな仲良くサロンに参加しています。

発行：秋田市社会福祉協議会 河辺地域包括支援センター社協

住所：秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1 (河辺総合福祉交流センター内)

編集：生活支援コーディネーター 高橋久美子 連絡先：TEL018-882-5565